



自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年7月22日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

2020年度 身に付けさせたい力

夢(自分の未来を創造する力)・絆(相手意識をもった適切な対応力)・挑戦(自ら考え、自ら行動する力)

身に付けさせたい力「夢」関連

～1年生「性に関する指導」実施(7/17)～



妊婦体験

「中学生が妊婦時や出産時の講話及び妊婦体験を通して、生命誕生について学び、自分自身の成長過程の振り返りや今後の生き方について考える機会とする」を目的に、1年生に「性に関する指導」を行いました。

例年、町内のお母さんと1歳未満の子どもさんが来校して、だっこしたりしてふれ合う場面もありましたが、本

年度は感染対策のため、その活動はありませんでした。

学習①(20分間)

養護教諭の甲斐真理先生が、「二次性徴」「受精」「胎児の成長」「命の大切さ」などの内容で、講話をしました。

学習②(20分間)

保健センターから来校された保健師・看護師・助産師さんの3人が、講話と実技体験を行いました。実技体験では、ジャケットを装着して、妊婦さんの日常生活が制限されることを体験しました。各学級代表4人が経験しましたが、靴下をはいたり、寝転んだりして不自由さを感じていたようです。

身に付けさせたい力「絆」関連

～「中学校部活動」で何が身に付いたか?～

7月4日(土)に、本校で中体連代替大会が午前中に行われました。私は、作業を終えて正門の坂を登っていると、掲示板の近くに、関係部の3年生と1年生が疲れた様子で座っていました。私と目が合い挨拶を交わし、3年生に「お疲れさん」と話しかけると、ずっと立ち上がって会話に応じてくれました。その姿を見て、1年生も立ち上がりました。この3年生の何気ない態度が中学校部活動で身に付いたものの一つと、すぐ感じました。このような状況の時に、たいていの人が座ったまま会話をしますが、彼女は部活動での指導が身に付き、自然に行えたと思います。

中学校部活動は、設置された部の中から、自分にあった種目を選択して日々練習に取り組みます。技能が上達することも自分の成長につながりますが、社会に通用する能力(あいさつ・返事・言葉づかいなど)を身に付けることも、とても大切なことです。

今回、3年生の姿を見て1年生が真似をしたことも、伝統を引き継いだ場面であり、先輩から後輩に姿で伝えたとも言えます。勝利を目標に頑張ることも大事、でもそれだけではいけないということを、彼女は私に改めて感じさせてくれました。



身に付けさせたい力「絆・挑戦」関連

～「南関町喜ばせ隊」募集～

募集を開始して、現在10人が加入してくれました。早速、昨年のように「独居老人暑中お見舞い大作戦」を始めているところです。

なぜ?ボランティアグループを組織したか

私は南関町に赴任して、まず驚いたのは地域性の高さです。なぜ、そう思うかと言うと、地域から学校支援に多くの方が協力してくれます。「夏の学習会」「読み聞かせ」「書き初め大会」など、さらには「とっぱ食堂」「なんかん寺子屋教室」、そして今学校が苦勞している「放課後の消毒作業」からです。小学生であれば感謝の気持ちを持つことでよいのですが、中学生になれば、感謝の気持ちに加えて、私たちが出来ること(行動)でお返しをする必要があると思います、昨年度からボランティアグループを組織して、「協力できる日に、協力できる人が、無理をしない程度に」ということで活動しています。

このような考えでグループを組織しています。新型コロナウイルス感染拡大のため、昨年度のように活動できませんが、出来ることを企画しながら、南関中学校の将来につながる組織に成長できたらと思っています。



～「声掛け事案」多発～

「新型コロナウイルス感染症防止対策による休校が明け、本格的な登校が再開した6月から、熊本県内で子どもや女性に対する声掛け事案などが増加している。荒尾警察署管内でも届け出件数が急増している・・・(中略)県内では、6月の届け出が128件と、5月の66件からほぼ倍増(以上、6月中に発行された「有明新聞」の記事からです。)

私は、熊本県警察が発信する「ゆっぴー安心メール」を登録していますが、現在も「つきまとい」「公然わいせつ」などの不審者に関する事案が毎日のように配信されています。あらためて、以下のことを家庭でも注意してください。

- ① なるべく複数人で登下校する。
- ② 人通りの多い道を通る。
- ③ 不審な人物に声を掛けられてもついていかない。
- ④ 危険を感じたら防犯ブザーや大声ですぐ助けを求めろ。



四連休です。

「早寝早起き、朝ごはん」を心がけながら、規則正しい家庭生活を送りましょう。感染対策も大事です。

「不要不急の外出をさける・3密を避ける」「外出するときは、必ずマスク着用・手洗いをまめに行う」を徹底しましょう。

